



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 249

2017/08/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

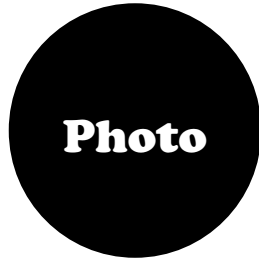
GREEN COLUMN

01. ルリ色の王様トンボ

02. なつかしの給食



今月の一枚



「小さなセミ」

表紙写真・文／鬼丸和幸

猛暑ともいえる暑い日が続いていますが、猛暑にさらに輪をかけるのが“セミ”の声。しかし、他のセミと違い、どこか涼しげに聞こえるのがエゾチッチゼミの声。

♪チッチッチッチッ…（シャリシャリシャリ…）♪

体長が 25 ミリほどの小さなセミです。博物館の周りを歩いていると、森から聞こえるエゾチッチゼミの鳴き声を楽しむことができます。

Event. 今月のイベント

特別展「美幌なつかしの学^{まなびや}び舎」～10月22日(日)

プチ工房「風鈴を作ろう」 8月9日(水), 11日(金)

博物館講座(自然編)「オス^{おさない}がない!? 不思議な魚フナの話」 8月19日(土), 20日(日)

Information. 参加者募集

プチ工房「風鈴を作ろう」

- 8/9(水), 11(金) 10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたなら終了 ●美幌博物館 1F 講座室
- 材料費(300円) ●町田善康(美幌博物館) ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座(自然編)「オス^{おさない}がない!? 不思議な魚フナの話」

【講演会】 ● 8/19(土) 16:00 - 17:30 ●博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●三品達平氏(京都大学) ●申込み不要。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員50名で締切。

【観察会】 ● 8/20(日) 9:30 - 12:30 ●網走湖付近の用水路(集合解散は美幌博物館) ●保険料(100円), 野外で活動できる服装, 長靴, 雨具, 虫よけ, お持ちの方はフナ釣り用のつり竿 ●三品達平氏(京都大学) ●美幌博物館へ電話申込み(8/1-8/16)。キャンセルは8/16まで。それ以降は不参加でも保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員25名で締切。小雨決行。悪天候時は室内で行います。

博物館講座(歴史編)「縄文時代と琥珀玉」

【講演会】 ● 9/2(土) 10:00 - 11:30 ●博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●山田哲氏(北見市教育委員会) ●申込み不要。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員50名で締切。

【見学会】 ● 9/3(日) 9:00 - 14:00 ●北見市ところ遺跡の森(集合解散は美幌博物館) ●保険料(100円), 遺跡の館入館料(280円), 野外で活動できる服装, 虫よけ, 昼食, 雨天時は雨具, 長靴 ●山田哲氏(北見市教育委員会) ●美幌博物館へ電話申込み(8/1-8/30)。キャンセルは8/30まで。それ以降は不参加でも保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員25名で締切。小雨決行。

今月の休館日

7日, 14日
21日, 28日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

ルリ色の 王様トンボ

写真・文／鬼丸和幸



美幌町内では川や池、沼などを中心に、多くの種類のトンボを見ることができます。美幌町内で見られるトンボの中で、体の大きさが90ミリ前後と一番大きく、美しいルリ色の体をしているのがオオルリボシヤンマです。7月～10月にかけて、大きな池や沼でよく見ることができます。体の色もさることながら、その目の色は、透明度の高いルリ色をしており、とても魅力的です。

トンボのオスは、水辺に自分の“なわばり”を作り、なわばりの中に来たメスを独占しようとします。そのため、他のオスが、なわばりに侵入しようものなら、激しく追い払う行動をします。

この時期、大きな池ではオオルリボシヤンマのオスが、悠々と自分のなわばりをパトロールしています。その姿は、トンボの王者としての風格が充ち満ちています。

トンボのオスが“なわばり”を作る性質を利用すると、なかなか捕まえないオオルリボシヤンマのような、大型のトンボを捕まえることができます。なわばりを行ったり来たりするわけですから、この道筋にじっと立って昆虫アミを構えていれば、効率的に捕まえることができます。…とは言うものの、相手も生きものですから、こちらの捕まえようとする気配を察して、突然目の前から離れたりするので、そう簡単にはいきません。昆虫と人間の知恵比べです。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

なつかしの 給食

写真／重山夢利・文／城坂結実



7月22日(土)より、特別展「美幌なつかしの学び舎」がはじまりました。美幌町内の小学校の歴史をテーマにした展示会です。みなさんの子どもの頃の思い出がどんどんよみがえる、なつかしい空間となっています。

会場には「なつかしの掲示板」があり、ご来場のみなさんに、小学校の思い出を書いていただいています(18才以上の方限定)。冬に馬そりに乗って通学したことや、トイレがくみ取り式で怖かったこと、地下足袋を履いて運動会をやっていたことなど、読んでいるこちらも「そうそう!」とか「そうだったんだ!」と思わず声が出てしまう事柄がいっぱいです。

私の小学校の思い出といえば、給食。通っていた小学校は、学校内で給食を作っていて、お昼近くなると、とてもよい香りがしました。背伸びをして給食室の中をのぞくと、白衣を着た大人

が、もうもうと上がる湯気の中で、一生懸命働いているのが見えました。今思えば、夏はとても暑かったことでしょう。

小学生の頃から体が大きかった私は、毎日おかわりをするほど給食を食べていました。しかし、6年間に1度だけ、おいしくなくて食べられなかったメニューがあります。その名も「大豆のオレンジ煮」。大豆をみかんの皮で煮たもので、先生すら口にしていなかったように思います。全校児童に不評だったそのメニューが出たのは、後にも先にもそれっきり。

特別展会場にある「なつかしの掲示板」に思い出を書いた方、先着300名には、手ぬぐいをプレゼント中です。お早めにお越しください。

※写真は、美幌町の昭和39年の給食を再現したものです。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・重山夢利

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

研修生のつぶやき

こんにちは、研修生の重山です。先日、博物館講座の「ホタルかごを作ってホタルを観察しよう」で美幌町のとある場所にホタルを観察しにいきました。真っ暗な森の中にたくさんのホタルがいてとてもきれいでした。みなさんの身近な場所にもホタルはいるので、この夏探してみたいはいかがでしょうか。(重山)